



(13名)と短大生(25名)が、そして3日には北滝の川の佐藤元洋氏のほ場で、第二小学校(64名)が稲刈りの体験を行いました。



両日共に好天に恵まれ稲刈り日和となり、山岸氏から「春の田植えをした苗がこんなに大きく育ち実りを迎えました、現在は機械で収穫しますが、昔は鎌で収穫していたので怪我をしないよう注意して体験してください」と話すと元気な声で返事をした児童たちは、身支度後稲刈り作業を楽しんでいました。

田植えの体験学習を経ての稲刈りであったことから、水田に入ることにちゅうちよすることではなく、初めて持つ鎌の使い方にも多少苦戦しながらも、刈り取り作業を楽しんでいました。



下旬に収穫を行ったカボチャを、自分達でPR販売するという体験学習でした。



当日は2クラスが各2班に分かれて約2時間(1班30分)で交代しながら、約120個を完売しました。

実際に販売した児童達からは「全部売れて良かった。」

でいました。児童達からは「鎌を持った時は心配だったけど、刈り始めると楽しかった」、「田んぼがぬかって転倒した為、服を汚してしまっただけど、とても楽しかった」などの声も聞かれ、後日この新米が届けられることを、皆楽しみにしているとの声が聞かれました。

## 芦別道の駅前で カボチャ販売に挑戦

10月3日、芦別市の道の駅スタープラザ芦別の広場にてカボチャの販売体験学習を開催しました。

同校の3年生(47名)が食育の授業で春に播種、定植を経て、9月

た」、「お金の計算が大変だった」等の声も聞かれ、ほ場並びに販売をサポートしていた北川広氏も、「今年のカボチャは品質も良く完売出来て安心した」とのことでありました。

## 青年部江部乙支部 さつまいも収穫体験

10月24日(木)に青年部江部乙支部の試験圃場にて江部乙小学校4年生を対象にしたさつまいもの収穫体験が行われました。

好天にも恵まれた秋晴れの中、大きく育ったさつまいもを宝探しのように掘り当て、歓声を上げながら楽しそうに収穫をしていました。

